



平成 29 年 5 月 10 日

各位

会 社 名 株式会社ヤマダ電機
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 光正
(コード番号 9831 東証第一部)
問 合 せ 先 取締役兼執行役員専務 岡本 潤
(TEL. 0570-078-181)

平成 29 年 3 月期 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期個別業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期の通期個別業績と前期実績との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前期実績（A） （平成 28 年 3 月期）	百万円 1,420,744	百万円 47,344	百万円 53,648	百万円 21,570	円 銭 27.12
当期実績（B） （平成 29 年 3 月期）	1,365,630	49,576	58,309	33,928	42.25
増減額（B－A）	△55,113	2,232	4,661	12,357	
増減率（%）	△3.9	4.7	8.7	57.3	

2. 差異の理由

前期に実施した自社競合解消のための店舗の大規模閉鎖の影響（前期は構造改革等によりグループ全体で直営店 98 店舗を閉鎖。その閉店セールsの反動減も発生）により、売上高は、前年を下回りましたが、各種構造改革により、売上総利益率の改善及び販売管理費のコントロールが効き、営業利益、経常利益ともに前年を上回りました。また、前期は、前述の大規模店舗閉鎖による特別損失が発生していましたが、当期は、発生しなかったことから、当期純利益が前年を大きく上回りました。

なお、連結業績につきましては、「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以上